

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 3 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 5 年 8 月 1 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美 (会計年度職員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会 (7月12日開催) の報告</p> <p>2 高齢者学級の野外学習について</p> <p>3 各講座の報告と計画</p> <p>[報告] 市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ アンガーマネジメント講座」、成人学校「ボディメイク教室」</p> <p>[計画] 高齢者学級「けやき学級」、サマーコンサート「ハワイアン クラシック ヒリウ」、市民講座「親子で社会科学見学 笛木醤油&川越市立博物館・川越城本丸御殿」、成人学校「ハワイアンリボンレイ ネットストラップ製作」、成人学校「今日からはじめる いきいき腸活講座」</p> <p>4 その他 ・今年度未定の講座について</p> <p>次回の日程 令和 5 年 9 月 5 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 公民館貫井南分館学習室 B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（7月12日開催）の報告

公民館事業の報告について、貫井南分館からは成人学校「はじめてのソロキャンプ」を報告。委員からは年齢幅も20歳代から70歳代で男女比も半々であり、雰囲気も良かったのではとの意見が出された。公民館事業の計画について、貫井南分館からの提出はなかったが、緑分館、貫井北分館には陶芸窯で陶芸教室を行っている。貫井南分館にも陶芸窯があるのにどうして教室を実施しないのかとの質問が出た。貫井南分館長は欠席していたため、その場での回答は行わなかった。協議事項の公民館施設の有料化については、事務局作成の申し送り書(案)を基に、この期でたたき台を作成することとした。委員からは、次期では次世代へ繋がる結果を検討してもらわないと際限がなくなる他、利用者からお金を頂くため自主財源確保への仕組みの必要性、また、ハード面（空調など）、ソフト面（備品など）の充実など意見が出された。自主財源確保について事務局から、市では公共施設基金を創設しているが、公民館に限定するような道筋を作ることは難しいとの説明を行った。今回の会議では委員の意見から、この申し送り書を文章のみとせず、項目別に整理して理解しやすいものとする事とした。

2 高齢者学級の野外学習について

7月19日（水）の担当者会議で野外学習については、一部参加者からもそこまでしてもらわなくてもという意見があったり、観光バス運行費用が意見当たり約10万円ということから特定の市民だけが恩恵を受けるのはどうなのか、予算前に事前計画を立てても要求通りの額が付かず、計画変更を余儀なくされる事態が続いていることから、廃止の方向性を確認した。これについての企画実行委員の意見を集約すべく、貫井南分館での意見交換を行い、廃止、存続、中間的な意見が出された。廃止については多額の税金投入がもつたいない、参加者には期待している人の方が多く、存続では規模は小さくしてもなくすのは寂しい、仮に公共交通機関での移動となれば、迷子など管理運営が難しくなる。中間的なものとして、一部参加者が負担する方法もあるのではないかと意見が出された。

3 各講座の計画

【報告】

○市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ アンガーマネジメント講座」

7月8日（土）の午前10時から正午に実施。募集30人に対して32人の応

募があり、参加は26人（男性7人、女性19人）となった。年齢も30歳代、40歳代の参加割合も多かった。講師の話も人を引き込ませるような講義で、質問に対して真摯な態度での回答をしていた。今回、保育を導入した。アンケートの中には平日働いている人が参加できる土日の開催を希望していることもあり、今後もこの講座は継続していくこととなった。

○成人学校「ボディメイク教室」

6月15日から7月27日の毎週木曜日の午後7時から9時で実施。定員10人のところ、11人（男性2人、女性9人）でスタートした。3回までは座学を主に、4日目からは東京工学院専門学校の特レーニング室を利用させていただき、実技講習となった。暑い季節、途中体調で不参加もあったが参加率は約82%であり、皆さん熱心に取り組んでいた。この講座は貫井南分館としては唯一、近隣の東京工学院専門学校との協力で行っている講座で、スポーツビジネス科の学生も指導実践の場ともなっている。今後も継続していく講座としたいが、学生のテスト期間（7月）を考慮し、時年度以降開催日の検討を行う必要がある。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

前半が7月19日（水）に終了。前半のアンケートでは、「落語を楽しもう」、「俳句でリフレッシュ」、「皆さんで歌いましょう」、「スポーツウエルネス吹矢」が上位の人気講座となった。後半は9月6日（水）から「朗読を聴こう」でスタート、8月3日（木）には講師との打ち合わせを行う予定。9月13日（水）は野外学習として東京ガスミュージアムを見学（60分ガイド）することとで、学級生には事前の説明を行う。9月20日（水）の「脳活体操でリフレッシュ」は講師との事前打ち合わせを終えて、当日に市内在住のアシスタントが来る、また、後半に座席の形を円形へ変えることとなる。

○サマーコンサート「ハワイアン クラシック ヒリウ」

7月18日から申込を開始、当日で定員50人が埋まった。開演当日8月6日（日）は、午前9時から機材搬入となる。同時間から会場設営となる。

○市民講座「親子で社会科見学 笛木醤油&川越市立博物館・川越城本丸御殿」

応募状況が7月26日申込期限で、親子2組と少なかったため内容一部変更し、再募集をかけることとなった。遠山記念館から同じ川島町にある笛木醤油へ変更し、醤油づくりの工程を見学してもらうこととなる。遠山記念館は古民家で歴史

的価値があり、その学習も有益と見込んでいたが、親子に対しては少々見学対象としての印象が重かったかもしれないとの反省は残った。

○成人学校「ハワイアンリボンレイ ネックストラップ製作」

9月30日（土）午前10時から正午に実施予定。市内在住の講師となる。市報9月1日号での募集となる。

○成人学校「あなたも腸活デビュー」

2回目の打ち合わせを行い、内容、講座の構成が決まってきた。講義だけでなく、寝転がって自身でのセルフ腸もみを行う予定。10月22日（日）午前10時から正午に実施予定。市報10月1日号での募集となる。

4 その他

・今年度未定の講座について

成人学校1枠、市民講座が3枠未定となっている。成人学校1枠については、ネックストラップの応募状況で追加開催の可能性もある。

次回の日程（予定） 令和5年9月5日（火）午前9時30分～ 学習室B

第36期小金井市公民館運営審議会 第18回審議会の報告

令和5年7月12日開催・801会議室

1 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について

委員部会長から6つの活動方針案として、委員部会の状況に合わせた事業を企画する。また、情報交換の時間を持つことなど示された。10月14日（土）開催予定の委員部会研修会の講師に長澤成次氏（千葉大学名誉教授）ほか1名の講師候補を選出、事例報告者に伊東静一氏（元福生市公民館長）を検討している。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「はじめてのソロキャンプ」を提出。委員からは年齢幅も20歳代から70歳代と幅広く、男女も半々で雰囲気も良かったのではないかと、また、防災という観点もあり良い企画との感想をいただいた。貫井北分館の成人学校・地域研究講座「むさし散歩」については、コース決めに過去の意見交換会からでた意見を採用するなど次に繋がる講座となっていることはとても良いとの感想がだされた。

2 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からの提出はなし。緑分館の成人学校「陶芸入門教室」に際して、貫井南にも陶芸窯があるはずだが、陶芸関係の講座はやらないのか、折角あるなら坂下でも実現してもらいたいとの意見が出された。

3 協議事項

ア 公民館施設の有料化について

事務局から、過去の公民館使用頻度、人数、時間別使用回数ほか、集会施設についての使用料、次の第37期公民館運営審議会への申し送り書（案）の説明を行った。委員からはこの資料を基に、たたき台をこの期で作成し、次期では次世代へ繋がる結果を検討してもらわないと際限がなくなる他、利用者からお金を頂くため自主財源確保への仕組みの必要性、また、ハード面（空調など）、ソフト面（備品など）の充実など意見が出された。自主財源確保について事務局から、市では公共施設基金を創設しているが、公民館に限定するような道筋を作ることは難しいとの説明を行った。今回の会議では委員の意見から、この申し送り書を文章のみとせず、項目別に整理して理解しやすいものとする事とした。

次回の日程 令和5年9月6日（水）午前10時から市役所第二庁舎801会議室

高齢者学級担当者会議（まとめ）

令和5年7月19日（水）15：30～ 公民館本館 内倉庫

本館：近藤 貫井南：伊藤 緑：山本 東：倉本 貫井北：村山

【来年度に向けて】

1 野外学習の行き先について

意見：ひとつの事業に予算が1館あたり10何万とつき、費用対効果の面から言っても特定の市民だけが恩恵を受けるのは疑問視されかねない。

意見：予算要求しても削られ、当初予定から変更せざるを得ない状況が続き、運行料も値上げもしているなか、バスを使う事業の継続が難しい（予算内で行ける範囲では、バスの駐車場確保や大人数での食事会場確保も困難になってきている）。

・**バスでの野外学習は廃止の方向**で、近場の遠足2回で対応したい。

※あくまでも担当者間での方向性なので、来月の企画実行委員の会議で話をしていただき、そのうえで委員の意見を集約する。

2 学級生の人数について

・20人→30人へ増やすことで担当者全員一致。

※班分け等の運用方法は各館に一任

3 定員割れの対応

・抽選で外れた方への救済措置として、返信はがきに「〇〇館に空きがあるので、興味があれば連絡してみてください。」の一文を入れる。連絡するしないはご本人に任せる（開催曜日で館を選んでいることも考えられるので）。

4 その他

貫井南分館

市民講座

「怒る人も怒れない人にも役立つ アンガーマネジメント講座」

- 目的** 自分の怒り方を見直し、怒りのレベルを判別して感情との付き合い方を考える
- 日程** 令和5年7月8日（土）午前10時～正午
- 内容** 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など“怒りのメカニズム”について学び、グループワークを通して分析・対処法を考える
- 講師** 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）
- 場所** 公民館貫井南分館 学習室A・B
- 参加費** 無料
- 募集方法** 市報6月1日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、
先着順、応募フォーム、電話、Eメールまたは直接貫井南分館窓口まで。
- 対象** 市内在住・在勤・在学の方
- 人数** 募集 30人 応募32人（男性9人、女性 23人）
受講 26人（男性7人、女性19人） 参加率86%
参加年代 30代4人、40代9人、50代3人、60代6人、70代2人、80代2人
- 保育** 8人（先着順） 応募11人
参加 6人（1歳1人、2歳1人、4歳1人、5歳1人、6歳1人、7歳1人）
- 担当企画実行委員** 高橋 陽子
- 担当職員** 永嶋 汐美
- 担当職員感想** 昨年と同講師講座を平日に開催した際、アンケートに「平日働いている人が参加できる時間帯に開催してほしい」という意見があり、今年度は土曜開催となった。講師の具体的な例を使った話とグループワークで、自分の怒りの根底が何かという気づきと今日から実践して怒り方を変えていくきっかけを考えることができているようであった。

参加者感想

- 自分だけでなく怒りっぽい相手へのアプローチを考えるきっかけになりました。子育て・夫との関係についても、漠然と過ごすのではなく理論に基づいて行動して変化をたのしもうと思いました。
- 保育がありこのような学習を受けることができました。本当にありがとうございました。
- 聞いたことがある内容でしたが、うまく繋がって体系的に理解することができました。
怒りをなくすことは出来ませんが、うまく付き合っていきたいと思います。
- 毎日イライラでモヤモヤしていた日々が先生のお話を聞いて、具体的に明確化されたように思えました。自分の行動を考えることができ、前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。

貫井南分館

成人学校

「ボディメイク教室」

目的 これから本格的にトレーニングをしてみたいと考えている方に、最初の取り掛かりとして身体についての学習と軽めの実践を行い、ボディメイクメソッドを体験してもらう。若い世代の参加者を促すとともに、スポーツ施設のない坂下地域の方々への運動意識の醸成を促す。なお、坂下にある東京工学院専門学校のご協力によりトレーニング室借用及び学生の支援を受けての実技となる。



日程・内容 いずれも木曜日の午後7時から9時

- (1) 6/15「筋トレメニューの作り方①」と実技（肩・胸の解剖学と自宅トレ）
- (2) 6/22「筋トレメニューの作り方②」と実技（脚・腕の解剖学と自宅トレ）
- (3) 6/29「栄養と食事・サプリメントテーション」と実技（背中・腹の解剖学）
- (4) 7/ 6「ジムでの筋トレの実際①」（胸・肩・三角筋）
- (5) 7/13「ジムでの筋トレの実際②」（脚・腹）
- (6) 7/20「ジムでの筋トレの実際③」（背中・二頭筋）
- (7) 7/27「ジムでの筋トレの実際④」（トレ室内で自作メニューの実践）

講師 鈴木 徳年さん（東京ボディビル・フィットネス連盟常任理事）

ところ 公民館貫井南分館学習室A・B及び東京工学院専門学校地下トレーニング室

募集 市報5月15日号、月刊こうみんかん5月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター ※応募はロゴフォーム、往復はがき、メール。

対象 高校生以上の市内在住者 10人（多数抽選）

人数 募集 10人 応募21人（男性9人、女性12人）平均年齢47.5歳
受講 11人（男性2人、女性9人） 延べ参加者 63人

担当 企画実行委員 阿部 光子、今村 誠 職員 松本 浩明

担当職員感想 もう少し若い世代の参加が欲しかったが、参加者は皆さん真剣に取り組んでいて充実した講座となった。また、専門学校でトレーニングを学んでいる学生の支援を受け、指導実践の場として地域参加・交流となり充実したものとなった。

参加者感想

○10年以上スポーツクラブに通っていたものの、自分のレッスンに出ているだけで、マシンやダンベルのことは全く理解せずに過ごしていました。この講座を受講することができ、トレーニングの大切さを知ることができました。今後、継続して筋肉をつけ、体力向上を図りたいと思います。

○この度は素晴らしい講座に参加させていただき、ありがとうございました。運営の皆様、講師の先生方に感謝申し上げます。食事改善に取り組み、運動を継続（一生）していきたいと思っています。

令和5年7月19日（水）

公民館貫井南分館主催高齢者学級「けやき学級」講座前半について
アンケート集計結果

1位 落語を楽しもう 10票（第8回：7月19日開催）

【理由】

- ・時代離れのようなが、あり得る話。
- ・久しぶりにお腹の底から笑った。
- ・目の前で聞く事があまりない。
- ・リラックスして理屈抜きに面白い。
- ・久しぶりに笑えた。
- ・楽しかったです。面白かったです。
- ・落語は久しぶりに笑えました。
- ・最近、こんなに笑う機会がなかったのでリフレッシュ出来ました。

2位 俳句でリフレッシュ 9票（第6回：7月5日開催）

【理由】

- ・読みたくても読めない。
- ・とても勉強になった。
- ・季語で読むのは難しい。
- ・俳句は、講師の先生が丁寧に説明してくださり、なかなかうまく言葉が出ませんでした。
- ・俳句は日頃作っているのですが、皆さんの句を見れて先生の批評を聞いて勉強になりました。
- ・久しぶりに俳句を作ってみて、楽しい時でした。
- ・講座の前に俳句について季語等、考える時間が持てた。講師の方が皆様の俳句を短時間に批評されたことは良かったと思いました。

2位 皆さんで歌いましょう 9票（第4回：6月7日開催）

【理由】

- ・年々声が出なくなり、学んで家で練習。
- ・皆で声を出すのは楽しい。
- ・楽しかったです。面白かったです。
- ・私自身、歌が好きのため。（皆さんで歌いましょう）
- ・皆でひたすら声を出して歌うのも気持ちよく、時間もあっという間に過ぎました。

- ・皆さんと久しぶりに声を出して歌いました。
- ・懐かしい歌を歌えて、楽しいひと時を過ごす事が出来た。

3位 スポーツウェルネス吹矢に挑戦 7票（第5回：6月14日開催）

【理由】

- ・初めての吹矢で他でやっているのを見ましたが楽しかった。
- ・初めての挑戦。肺活力～呼吸方法を学ぶ。
- ・初めての経験。
- ・吹矢ははじめての経験でしたので最初は不安でなかなか出来ませんでした。最後になっておもしろいなと思いました。
- ・吹矢は初めてでした。一回目に高得点が出て楽しいと思いました。
- ・初めて吹矢をする事が出来て良かった。難しかったが、やり方を教えてもらい楽しむ事が出来た。
- ・初めて吹矢を吹く。楽しかった。

映像で見る小金井の歴史

【理由】

- ・身近なこと。
- ・長いこと小金井に住んでいますが、昔のことが良くわかった。
- ・自分の住んでいる所を知ることは楽しい。
- ・小金井の野川、歴史を知ることが出来た。
- ・小金井の他の地域の話を知りたいと思いました。

世界情勢

【理由】

- ・普段遠ざかっている事を分かりやすく聞く。
- ・世界情勢が良く分かった。

遠足

【理由】

- ・緑がとても気持ち良かった。江戸、明治の雰囲気を感じられる。
- ・身体を動かしたため。

●市民講座「親子で社会科見学～川越市立博物館・川越城本丸御殿と遠山記念館～」

- 1 抽 選 応募少数のため取りやめ
- 2 応募状況 二組5人
- 3 実踏結果
 - ・観光バス乗降所から市立博物館まで徒歩10分くらい。
 - ※博物館前で降車し、バスは専用駐車場へ行ってもらおう。
 - 見学終了時間を見計らって博物館前に回送してもらおう。

 - ・昼食会場に予定してた「庄司」は水曜日定休。
 - ※去年行った笛木しょうゆパークへ行くも、満車で✕。
 - ・遠山記念館は全体的に大人向けで、子供には難しい。
- 4 結 論
 - ・昼食会場と遠山記念館見学を変更。
 - ※昨年行った笛木醤油の金笛しょうゆパークで昼食休憩と工場見学に変更。
 - 応募者には当選連絡をした際に行先変更の旨は伝えてあり、二組ともに了承をいただいている。